

神崎市3大夏祭り

「城原川ハンギーまつり」

筑後川下流右岸農地防災事業所

「城原川ハンギーまつり」とは、農業や生活に欠かせない水の恵みに感謝しようと、およそ30年ほど前から市の職員や地元住民でつくる実行委員会が開催している、佐賀県神崎市恒例の夏祭りです。

祭りでは、神崎市を南北に貫いて流れる城原川(じょうばるがわ)にて、ハンギーと呼ばれるタライに乗り、川幅26.5メートルを渡る速さを競い合う「ハンギー競漕」が開催されます。(ハンギー…地元の特産品の菱(ヒシ)の実を収穫する際に使用するタライ)

本稿では、8月2日(土)に開催された「第16回城原川ハンギーまつり」に、事業PRを兼ねて参加した様子をご紹介します。



祭りの開催に先立ち、当事業所長が、開会式の来賓挨拶で「日頃の国営事業への御協力感謝の言葉と、祭り参加への意気込み」を述べられ、その後の出漕式(デモンストレーション)にも参加されました。

出漕式での事業所長の活躍に当チームは盛り上がり、祭りのいいスタートとなりました。

競技には、市の内外から合わせて約300人がエントリーしており、地元関係者として實松神崎市長、市議会議員などをはじめ、国土交通省河川事務所や市役所職員、小学生から年配の方まで多くの参加がありました。各チームで選手の活躍や活気のある応援が見受けられ、非常に賑わいのある祭りとなりました。

当事業所からは、4人1組の『一般ハンギー競漕』に、「クリーク守り隊」として、若手チームとベテランチームの2チームが参加し、地元の大会常連チームが多い中、2チーム共に上位でゴールするなど、奮闘しました。

クリーク守り隊～フレッシュ～

クリーク守り隊～レジェンド～

レジェンドチームは、予選通過！

決勝へ進出し、大健闘でした。



また、会場のテントにて、事業概要等を記載したパネルも出展し、事業PRも行うことができました。

今後も、地域とのつながりを深めると共に、本事業の重要性を周知していきたいと思っております。